

戦争政策の本質を学び、憲法9条を守り抜く2022ヒロシマ平和研修

2022年8月5日～6日「戦争施策の本質を学び、憲法9条を守り抜く2022ヒロシマ平和研修」を開催しました。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻をきっかけに「核共有」議論をはじめとした抑止力のための軍事力強化が叫ばれている中、平和で安心して暮らせる社会を実現するために、今一度ヒロシマの実相から戦争の本質と「核共有」をはじめとした戦争政策を推し進める狙いについて学びました。



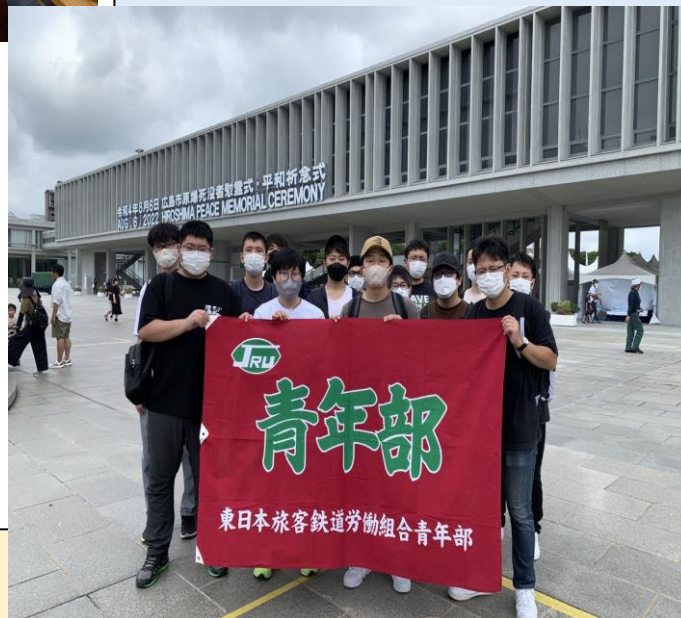
研修1日目には、被爆証言の会の山岡美知子さんからご講演をいただき、「ヒロシマの実相」と「核の恐ろしさ」「原爆による実験の実態」など学びました。

参加者からは、「非人道的な核の使用やいのちを犠牲にしてまで利益を得ようとする姿勢は許せないと思った」「戦争の本質をヒロシマの実相から学んだ」「ウクライナで同じような犠牲が強いられていることを

考えると、いかなる武力も核も必要ないことを学んだ」など感想が出されました。平和への決意を込めた色紙を山岡さんにお渡しし、ヒロシマで学んだことを伝え広めていくことを確認しました。

研修2日目には入場規制がかかる中、会場外にて「広島平和記念式典」に参加し、原爆投下の8時15分に黙とうしました。また、広島平和記念資料館や原爆ドーム、本川小学校平和資料館を訪れ、当時の生々しい現実に触れ、戦争の恐ろしさと愚かさについて学びました。

今研修を通して、「何のために戦争が起きているのか?」「戦争によって犠牲になるのは誰なのか?犠牲になるということはどういったことなのか?」を学びました。今後、ヒロシマで学びこれまでの価値観が変化したことを発信し、「平和のバトン」をつないでいく実践をつくり出していくことを参加した仲間と確認しました。



**「いのち」を犠牲にして得られる平和はない!
あらゆる戦争政策に反対し憲法9条を守り抜こう!**

